

教員についての基本情報

教員名	権 借珍（クオン ヘジン）
担当教科と分野	特別支援教育
研究分野	知的障害者教育・就労
担当授業	知的障害者教育、知的障害者心理・生理・病理、特別支援教育概説、インクルーシブ教育指導法、ダイバーシティ教育実践研究等
授業についての一言	知的障害児童生徒の理解や、指導法等について、アクティブラーニングを取り入れ、学生同士で議論を行ったり、調べ学習を通して深い学びができるようにしています。
研究室ホームページ	https://u-ryukyu-tokushi.jimdofree.com/



研究の内容

現在の研究テーマは「障害者の就労定着の観点に基づき学校と企業の連携支援のための評価ツールの開発」です。これまでの障害者の就労・雇用に関する研究は、雇用（経済又は福祉）と教育に分けて研究が行われてきましたが、障害者が安定的な職業を維持するためには、教育的課題に焦点を当てた学校と雇用する側である企業の両方の観点から調査研究を行う必要があるとの観点から研究を進めています。最終的には、障害者の雇用促進及び雇用定着に向け、学校及び採用する企業等の共通言語として使用することを目指したキャリア能力育成評価ツールの開発することを目的としています。

これまでに研究室で取り組まれた卒業研究の内容

- ・教育学部に在籍する学生における合理的配慮に対する意識の現状
- ・特別な支援を必要とする子どもの実態把握に関する一考察～質問紙調査による現状把握を通して～
- ・沖縄県における特別支援教育の現状について～対象者増加の背景と課題を中心に～
- ・知的障害特別支援学校におけるプログラミング教育の授業実践
～先行研究の分析を通じた音楽づくりの授業提案～
- ・障害のある学生が教員を目指すための環境整備等に関する研究
～障害のある教員の聞き取り調査を通して～
- ・知的障害特別支援学校におけるキャリア教育の現状について
～キャリアプランニング・マトリックスを用いた質問紙調査～
- ・ダウン症候群の児童に対する「活動のきりかえ」に効果的な支援の提案

研究のキーワード

知的障害者教育、就労支援、教育的課題、合理的配慮

研究室の様子

知的障害児童生徒も含め、多様なニーズのある子どもへの理解や学校・学級に関する課題意識に基づき、研究テーマを定め、研究を進めていきます。3年次では、論文の書き方や研究方法等について学んだうえで、研究計画を立てていきます。4年次では、各自の研究計画に基づき、研究を進めていきます。